

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成19年6月21日(2007.6.21)

【公表番号】特表2003-507159(P2003-507159A)

【公表日】平成15年2月25日(2003.2.25)

【出願番号】特願2001-516646(P2001-516646)

【国際特許分類】

B 01 F	7/16	(2006.01)
B 01 F	3/04	(2006.01)
B 01 F	5/10	(2006.01)
C 02 F	11/00	(2006.01)

【F I】

B 01 F	7/16	K
B 01 F	7/16	F
B 01 F	3/04	Z
B 01 F	5/10	
C 02 F	11/00	Z A B A

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月18日(2007.4.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】高さが直径の何倍も大きく同心状の中心管およびミキサーを備えた管状の反応器を含み、酸素を含むガスを用いて固形分を含有するスラッジのリーチングを行う装置において、前記反応器の中心管は該反応器の底部まで延在し、前記中心管の下端のごく近傍に複動ミキサーが配され、該複動ミキサーのシャフトは前記反応器の底部から立ち上がっていて、酸素を含むガスの供給部材は前記ミキサーの底部の下に延びていることを特徴とするリーチングを行う装置。

【請求項2】請求項1に記載のミキサーにおいて、前記複動ミキサーは水平板を含み、該水平板の下面にはこれと実質的に垂直な下側ブレードが固定され、該水平板の上面には湾曲した上側ブレードが固定されていることを特徴とするミキサー。

【請求項3】請求項2に記載のミキサーにおいて、前記下側ブレードは略長方形の形状を有することを特徴とするミキサー。

【請求項4】請求項2に記載のミキサーにおいて、前記上側ブレードの下部は略長方形の形状を有し、上方に向けてなだらかなテーパ形状を有することを特徴とするミキサー。

【請求項5】請求項1に記載の装置において、前記複動ミキサーの上部は前記中心管の内側に配されることを特徴とする装置。

【請求項6】請求項1に記載の装置において、前記複動ミキサーと中心管との間に確保される流れ断面積は、該中心管の流れ断面積の半分未満であり、好ましくは最大3分の1であることを特徴とする装置。

【請求項7】請求項1に記載の装置において、前記中心管の下部に円錐状の拡径部が設けられていることを特徴とする装置。

【請求項8】請求項1に記載の装置において、前記中心管の上部に円錐状の拡径部が設けられていることを特徴とする装置。

【請求項 9】 請求項 1 に記載の装置において、前記反応器の底面から前記中心管の下端までの高さは、該反応器の直径の 0.2~1.0 倍であり、好ましくは 0.3~0.5 倍であることを特徴とする装置。

【請求項 10】 請求項 1 に記載の装置において、前記中心管とこれを包囲するケーシングとの断面積比は、0.1 未満であることを特徴とする装置。